

ヒバクシャ国際署名

すすめる青森県連絡会ニュース

No.6 2017.7.6

連絡会事務局：青森県生協連(TEL:017-766-1521)発行

～いまこそなくそう！核兵器～

7.1 青森県民集会に33団体

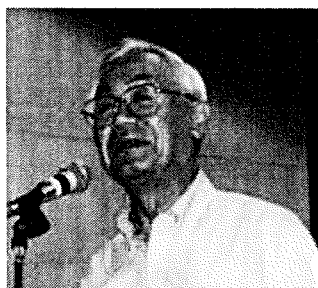
活動への想いを新たにしました！ **304名参加！**

◆「一人から一人へ」の合唱による オープニング

開会 30 分前より、会場の福祉プラザ 4 階ホールは、元気な歌声に包まれていました。平和のうたごえが数曲披露された後、会場の皆さんにヒバクシャ国際署名推進のために作られた「一人から一人へ」の歌唱指導が行われ、全体合唱によるオープニングとなりました。また、閉会の前にも、全体で合唱しました。



青森県うたごえ協議会「センター合唱団」のみなさん



主催者挨拶をする今村氏

◆主催者を代表し、共同代表今村氏より挨拶

県連絡会の共同代表の一人、原水爆禁止青森県民会議会長の今村修氏が「連絡会を結成し各団体による連携した取り組みが広がってきたことに感謝します。核兵器禁止条約が制定される方向に大きく前進させ、県内で一層署名活動に取り組んでいきましょう。」と開会の挨拶を述べました。

集会は、青森保健生協の外崎速人氏による爽やかで力強い司会進行ですすすめられていきました。



司会者の外崎さん

♥うれしいご報告♥

みなさんのカンパで収支が黒字に！！

会場カンパ (76,687 円) 折鶴バッチ (30,000 円)

カンパ総額 106,687 円

支出総額 102,041 円 ※講師宿泊代は被団協がカンパ

◆キャンペーンリーダーの林田光弘氏の講演に、署名活動推進への決意新たに・・・

林田光弘さんから迫力ある語り口で、以下のお話がされました。

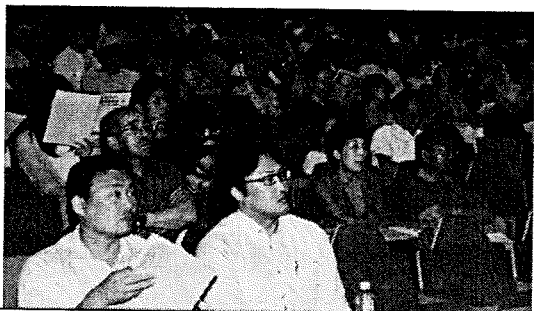
- 中学校から今に至る活動に触れながらの自己紹介
- ヒバクシャ国際署名は、ヒバクシャの呼びかけに応え、これまでの運動の枠組みを超えて世界に広がっている。
- 大量破壊兵器で非人道兵器である核兵器に関する世界の動きの中で、なぜ今核兵器禁止条約で、何を禁止するのか、核兵器のない世界への道筋は？
- 被爆者の方々にとっては、今日までの人生が被爆体験。色々な形で想いを継承して行って欲しい。今日の帰りに是非被爆者の方々と握手して欲しい。

※閉会後のフロアでは、「原爆被害者の会」の皆さんと、参加者との熱い握手が続き、感動の空間となりました。



◆林田さんと3人の若者たちがトーク

泉谷さんはNPT参加の経験から黙っていても平和を守れない事を、須藤さんは3.1ビキニデーを通して知った原爆の恐ろしさを、桜庭さんはヒバクシャ国際署名の取り組みで知った行動の大切さを話しました。林田さんから、「若者たちは、関心がないわけではない。関わり方もそれぞれ。若者と大人たち両方が歩み寄ることが大切なのです。」とまとめがされました。



林田さんの言葉を胸に刻む参加者の皆さん

◆各団体からの取り組み報告

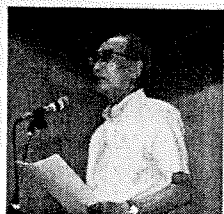
各団体より、この間「被爆体験を聞く学習会」「原爆写真展」「平和行進」「街頭や店頭での署名活動」「自治体首長訪問」などの活動を力強くすすめてきたことが報告されました。また、被団協の藤田新会長より感謝と決意が述べられました。



桜庭祐介さん（コープあおもり）
須藤江利加さん（フアルマ）
泉谷雅人さん（津軽保健生協）
林田光弘さん（講師）



青森県原爆被害者の会 藤田会長



原水爆禁止青森県民会議 泉事務局長



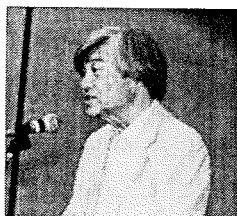
原水爆禁止青森県協議会 谷崎会長



青森県生協連 青森県民生協 澁谷さん

◆主催者を代表し、共同代表平野氏より閉会の挨拶

共同代表である青森県生協連の平野会長より「この集会を機会に一層取り組みを広げていきましょう」挨拶があり閉会となりました。



参加者一人一人と握手する藤田会長